



家庭での教育

教育には、学校教育、社会教育、家庭教育の3つがあります。このことに、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、自ら行う活動(学習)を加えると生涯学習と呼ばれています。

現代は、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を図る。」(教育基本法第3条一部抜粋)という生涯学習社会と言われています。また、同法第10条には「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」と定められ、『家庭が教育の原点』と言われる所以となっています。



さて、我が子が、友達同士で「〇〇へ遊びに行きたい」と言ってきました。このことを許可するかしないかの判断は、それぞれの家庭での判断によることとなります。「子供が事件や事故に巻き込まれては大変」と参加を見合わせさせるか、「〇年生になったら認めるよ」や「社会的な学習になるから賛成するよ」として本人に主体性や責任感をもたせていくかは、家庭での教育にかかっています。①誰と行くのか、②どのような行程で行くのか、③何時に帰ってくるのか、④お金はどのくらい必要なのか、⑤何に使うのか等々をしっかりと話し合っておくことや、事件や事故に巻き込まれないようにするための方策(服装・髪型・行動)も教える必要があります。それが、家庭の教育力です。

ちなみに、以下に、小田原少年院(2019年3月で閉庁)が入所者の状況を端的にまとめた「子供を非行化させるコツ教えます」というものを、以前掲載しました。この「コツ」の逆をすることが『家庭の教育力の向上』につながります。あと約3週間で夏休みになります。「家庭での教育力」が発揮される絶好のチャンスです。

子供を非行化させるコツ教えます 小田原少年院

- 1 幼いときから冷たく放りっぱなしにせよ。遊び相手になるとかスキンシップは全く無用。
- 2 欲しいと言ったら何でもすぐ買い与えよ。がまんさせることは絶対に禁物。
- 3 子供の間違いや失敗は理由を問わず叱りとばせ。口で言うよりひっぱたくほうがいっそうよい。
- 4 子供がどこで何をして遊ぼうが気にとめない。遊び仲間についても全く知る必要がない。
- 5 兄弟やよその子と比較して「おまえはバカだ、だれだれを見習え!」を連発せよ。
- 6 忙しいのに食卓のだんらんなど無駄。子供の話題や関心など無視すれば良い。
- 7 子供が善いことや努力をしてもめったにほめるな。
むしろ、ごまかしや裏切りなど悪事をうまくやったら必ずほめよ。
- 8 子供の前では決して夫婦間の意見を一致させるな。特に父親は難しい問題からうまく逃げよ。
- 9 お金こそ人生のすべてであると身をもって教え込め。宗教や精神生活を軽蔑させよ。
- 10 子供の前で常に法律、警察、学校、役所の悪口を言い、社会のきまりや公共機関への敵意を植えつけよ。

キャンプ（5年生）

6月17日（金）・18（土）の2日間、「仲を深めながら、思い出に残る楽しいキャンプ ワッハッハ！」のスローガンのもと、三浦市にある三浦YMC Aグローバル・エコ・ヴィレッジでキャンプを行いました。2年間、実施できなかつたので、学校としては3年ぶりになります。

コロナ対策で、行きは、4～5人のグループに分かれ、電車も別々に目的地を目指しました。現地では、1日目は、ウォークラリー、ビーチコーミング、キャンドルファイヤーなど、2日目は、磯遊びなどの活動をし、野外活動の楽しさを味わったようです。

帰りは、貸切バスを利用しました。学校に到着した時、少し疲れた様子はありませんでしたが、子供たちの表情から、満足感と充実感を感じました。このキャンプで経験したことを、これからの学校生活や友達関係などに活かしてほしいと思います。



【出発式（本校中庭）】



【キャンドルファイヤー「火の子」による点火】

7・8月 主な予定

7月

- 1日（金） 能楽ワークショップ（6年）
- 4日（月） プール開き
- 7日（木） 出前授業（4年生）
- 12日（火） クラブ活動
- 20日（水） TV朝会 給食終了
- 21日（水） 夏季休業開始

8月

- 28日（日） 夏季休業終了
- 29日（月） TV朝会
- 30日（火） 給食開始

